

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名称		中央公民館事業費 [公民館運営審議会の開催]									
予算科目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費	事業番号	1
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	中央公民館 課 事業 係					課長名		越中 洋			
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	1-2	5-3	
【施策名】 生涯学習の充実 共に支えあう地域社会の確立								総合計画書 (ページ)	35	110	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	審議会委員 →				審議会委員数						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	公民館事業の企画実施について審議できる →				審議会への出席者数(延べ人数)						
2 指標の推移	目標		②の目標値								
	目標値設定の考え方										
3 経費	事業費(実績)		円	0	641,270	545,696	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、 8,380,000円 時間単価は、 4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円		641,270	545,696					
		特定財源(国・都・他)	円		0	0					
		(うち受益者負担)	円		0	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人								
		所要人数(再任用)	人	人件費は、中央公民館事業費[中央公民館事業]に含まれる							
		職員人件費(再任用以外)	円								
職員人件費(再任用)		円									
事業費+人件費		円	0	641,270	545,696						
4 環境変化等	(1) 開始年度 昭和46 年度										
	(2) 環境の変化 平成11年、社会教育法改正により必置制でなく任意制になったが、当市では趣旨に鑑み条例存置の状況である。平成23年、社会教育法改正により、条例で基準を設け「学校教育及び社会教育の関係者」「家庭教育の向上に資する活動を行う者」並びに「学識経験のある者」から委嘱すると定めた。 平成31年度より「3経費」の計上方法を変更した(「中央公民館事業」に経費を一括して計上していたが、「中央公民館事業」「中央公民館施設管理」「公民館運営審議会の開催」「五館合同事業」にそれぞれ計上するようにした(人件費を除く))。										

事業名称	中央公民館事業費 [公民館運営審議会の開催]			
担当部署・課長名	中央公民館	課	事業	係 課長名 越中 洋

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	各館の利用者連絡会からも各1人ずつ選出されるため、各館の利用者の要望が反映できるので、各委員がパイプの役割を果たしている。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☐ 取り組んだ ☒ 取り組まない	取組手法：		
		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
利用者の意見のさらなる把握を呼びかけていきたい。				
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）			
	審議すべき事業について、検討する。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）			
	施策名：生涯学習の充実 共に支えあう地域社会の確立 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 ・公民館事業の実施に伴う意見を積極的に提示していく。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ・各種事業について意見を求め、適正化に努めていく。			